

令和3年度利用料金収入実績

公園施設名: 谷本公園 球技場(サッカー)

月別	施設使用料	照明料金	キャンセル料金	小計	その他施設 (ロッカー、シャワー)	利用料金合計
4月	881,600	251,750	0	1,133,350	1,000	1,134,350
5月	780,100	164,300	58,000	1,002,400	800	1,003,200
6月	759,800	156,350	23,200	939,350	800	940,150
7月	962,800	166,950	11,600	1,141,350	700	1,142,050
8月	742,400	143,100	58,000	943,500	800	944,300
9月	638,000	204,050	0	842,050	1,700	843,750
10月	516,200	243,800	23,200	783,200	400	783,600
11月	684,400	344,500	0	1,028,900	1,600	1,030,500
12月	870,000	365,700	104,400	1,340,100	2,600	1,342,700
1月	777,200	304,750	23,200	1,105,150	4,200	1,109,350
2月	667,000	275,600	11,600	954,200	3,400	957,600
3月	939,600	318,000	11,600	1,269,200	4,900	1,274,100
計	9,219,100	2,938,850	324,800	12,482,750	22,900	12,505,650

公園施設名: 谷本公園 球技場(フットサル)

月	施設使用料	照明料金	キャンセル料金	小計		利用料金合計
4月	786,400	184,000	5,200	975,600		975,600
5月	686,000	100,000	5,200	791,200		791,200
6月	848,200	108,000	62,400	1,018,600		1,018,600
7月	762,800	76,000	31,200	870,000		870,000
8月	618,800	92,000	31,200	742,000		742,000
9月	488,800	116,000	0	604,800		604,800
10月	431,600	150,000	0	581,600		581,600
11月	936,600	272,000	15,600	1,224,200		1,224,200
12月	880,000	268,000	0	1,148,000		1,148,000
1月	666,800	200,000	0	866,800		866,800
2月	806,700	262,000	0	1,068,700		1,068,700
3月	722,800	211,300	5,200	939,300		939,300
計	8,635,500	2,039,300	156,000	10,830,800		10,830,800

公園施設名: 谷本公園 会議室

月	施設使用料		キャンセル料金	小計		利用料金合計
4月	13,100		0	13,100		13,100
5月	14,000		0	14,000		14,000
6月	13,500		0	13,500		13,500
7月	14,600		0	14,600		14,600
8月	14,800		0	14,800		14,800
9月	11,700		0	11,700		11,700
10月	10,800		0	10,800		10,800
11月	12,200		0	12,200		12,200
12月	12,500		0	12,500		12,500
1月	13,400		0	13,400		13,400
2月	9,500		400	9,900		9,900
3月	11,400		0	11,400		11,400
計	151,500		400	151,900		151,900

利用料金収入計 23,488,350

※利用料金収入計は自主事業での施設使用料収入を含む。

令和3年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率

公園施設名:谷本公園 球技場(サッカー)

月別	利用回数	稼働率
4月	93	86%
5月	90	84%
6月	76	79%
7月	99	93%
8月	77	77%
9月	72	69%
10月	62	54%
11月	76	79%
12月	82	85%
1月	78	83%
2月	75	82%
3月	93	97%
計	973	80%

公園施設名:谷本公園 球技場(フットサル)

月別	利用回数	稼働率
4月	173	27%
5月	175	30%
6月	185	26%
7月	200	35%
8月	119	21%
9月	94	16%
10月	83	14%
11月	197	30%
12月	181	31%
1月	144	29%
2月	215	37%
3月	234	46%
計	2,000	28%

公園施設名:谷本公園 会議室

月別	利用回数	稼働率
4月	74	23%
5月	80	25%
6月	81	25%
7月	98	30%
8月	82	25%
9月	63	20%
10月	58	18%
11月	77	24%
12月	74	25%
1月	80	27%
2月	56	19%
3月	77	24%
計	900	24%

令和3年度公園利用状況

施設:谷本公園

月別	有料施設含む	公園全体の利用人数			備考
		(有料施設内訳)			
		球技場(サッカー)	球技場(フットサル)	会議室	
4月	13,505	3,771	3,160	498	
5月	13,039	3,685	2,497	521	
6月	11,291	3,083	2,577	547	
7月	11,827	3,987	2,300	659	
8月	11,607	3,378	1,846	605	
9月	11,965	2,977	1,452	468	
10月	8,946	2,753	1,134	296	
11月	11,908	3,402	2,696	445	
12月	10,466	3,489	2,310	401	
1月	10,042	2,891	1,713	447	
2月	10,983	3,001	2,389	321	
3月	13,325	3,690	2,120	419	
年間合計	138,904	40,107	26,194	5,627	

施設:谷本公園 球技場(サッカー)

月別	計測方法	利用件数		
		市内	市外	合計
4月	受付時に 確認	93	0	93
5月		90	0	90
6月		76	0	76
7月		99	0	99
8月		77	0	77
9月		72	0	72
10月		62	0	62
11月		76	0	76
12月		82	0	82
1月		78	0	78
2月		75	0	75
3月		93	0	93
年間合計		973	0	973

施設:谷本公園 球技場(フットサル)

月別	計測方法	利用件数		
		市内	市外	合計
4月	受付時に 確認	173	0	173
5月		175	0	175
6月		185	0	185
7月		200	0	200
8月		119	0	119
9月		94	0	94
10月		83	0	83
11月		197	0	197
12月		181	0	181
1月		144	0	144
2月		215	0	215
3月		234	0	234
年間合計		2,000	0	2,000

施設:谷本公園 会議室

月別	計測方法	利用件数		
		市内	市外	合計
4月	受付時に 確認	74	0	74
5月		80	0	80
6月		81	0	81
7月		98	0	98
8月		82	0	82
9月		63	0	63
10月		58	0	58
11月		77	0	77
12月		74	0	74
1月		80	0	80
2月		56	0	56
3月		77	0	77
年間合計		900	0	900

業務の第三者委託実績

施設:谷本公園

業務	内容	再委託先及び金額	年回数	実施年月日	評価	対応状況
夜間警備	・ 夜間の緊急時対応 (職員常駐時間外)	京浜警備保障(株)	通年	4月1日～ 3月31日	B	—
		¥ 19,800				
管理棟機械警備	・ 機械警備作動時対応他	京浜警備保障(株)	通年	4月1日～ 3月31日	B	—
		¥ 154,187				
AED設置	・ AED設置及び消耗品交換	京浜警備保障(株)	通年	4月1日～ 3月31日	B	—
		¥ 74,580				
自家用電気工作物の保安管理	・ 電気設備の点検	関東電気保安協会	12回	4月1日～ 3月31日	B	—
		¥ 250,800				
放送設備点検	・ 放送設備の点検清掃	株エムテック・メディア・ジャパン	1回	12月22日	B	—
		¥ 49,500				

※評価について : S(極めて優秀)、A(優秀)、B(普通)、C(不良)

令和3年度修繕実績

施設:谷本公園

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名または直営かの記載	対応状況
R3.4.8	3on3コート 弾性舗装	¥ 32,886	直営	修繕対応
R3.5.24	球技場倉庫シャッター	¥ 13,635	文化シャッターサービス(株)	部品交換
R3.6.8	石鹸入れ INAX KF-24	¥ 9,206	直営	部品交換
R3.6.8	カルマーPRO ASK-V23	¥ 1,350	直営	破棄・入替
R3.6.19	刈払機 チップソーヘッド	¥ 2,156	直営	部品交換
R3.6.30	ヘッジトリマー STHIL HT86T	¥ 36,720	直営	部品交換
R3.8.13	懐中電灯	¥ 3,953	直営	破棄・入替
R3.9.7	休憩室エアコン RAS-221BD	¥ 5,198	東芝コンシューママーケティング(株)	修繕対応
R3.9.7	多目的トイレ ベビーチェア	¥ 30,415	直営	修繕対応
R3.9.18	ハンドポンプ 空気入れ	¥ 1,436	直営	破棄・入替
R3.9.25	園内灯 4箇所	¥ 187,110	(株)とんぼ電工	部品交換
R3.10.12	多目的運動広場 雨水枡	¥ 8,973	直営	修繕対応
R3.10.21	スケートボードコート グランドボックス(小)	¥ 277,081	直営	部品交換
R3.12.6	オストメイト付き多目的トイレ 車椅子用手摺り	¥ 6,251	直営	部品交換
R3.12.9	球技場ナイター照明 保護管基礎部	¥ 5,670	直営	修繕対応
R3.12.16	3on3コート 弾性舗装	¥ 132,243	直営	修繕対応
R3.12.17	3on3コート バasketゴール	¥ 48,870	直営	部品交換
R3.12.28	女子トイレ ベビーチェア	¥ 5,670	直営	修繕対応
R4.2.22	レストハウス壁面	¥ 4,583	直営	修繕対応
R4.1.18	耐火金庫 内田洋行SD-XN	¥ 36,450	SLS(株)	修繕対応
R4.3.31	球技場ナイター照明 3球	¥ 213,400	(株)とんぼ電工	部品交換

※ 調査費や打合せ等にかかった費用及び労務費は含まれていません

令和3年度増減備品一覧

施設:谷本公園

品名	形状・その他	単価(円)		購入		破棄		増減数	増減理由
				数量	年月日	数量	年月日		
ホースリール (Ⅱ類)	50m用	¥	—	—	—	1	R4.3.1	-1	故障により破棄
扇風機 (Ⅱ類)	EF- TS315R(S)	¥	—	—	—	1	R4.3.14	-1	故障により破棄
空気入れ (Ⅱ類)	molten ポップアウト ホースTM	¥	—	—	—	1	R3.3.31	-1	故障により破棄
空気入れ (Ⅱ類)	molten ポップアウト ホースTM	¥	1,064	1	R3.9.18	—	—	1	既存品の破棄に伴う 新規購入
懐中電灯 (Ⅱ類)	GENTOS LK-014L	¥	—	—	—	1	R3.3.31	-1	故障により破棄
懐中電灯 (Ⅱ類)	GENTOS MG-823D	¥	2,928	1	R3.9.18	—	—	1	既存品の破棄に伴う 新規購入
ホワイトボード (Ⅱ類)	TWBK-12090	¥	—	—	—	1	R3.9.24	-1	故障により破棄
カルマー (Ⅱ類)	カルマーPRO ASK-V23	¥	—	—	—	1	R3.6.8	-1	修繕不可のため破棄

苦情対応報告

施設:谷本公園

	年月日	内容及び苦情者		対応結果
1	R3.4.11	路上駐車が多いと苦情	公園利用者	車の移動のお願いについての園内放送をした。
2	R3.6.5	ベンチに鳥の糞がついていると苦情。	公園利用者	該当のものを含めすべてのベンチを確認し、汚れのあるものを清掃した。
3	R3.6.14	3on3の利用方法について、名前を変えて複数利用できないようにルールの変更を検討すべきと苦情。	3on3コート利用者	今までの対応について説明し、陳情者の案などを伺い、検討してみますと回答。
4	R3.6.15	公園外周の路上駐車について、公園利用者は公園駐車場を利用すべきと苦情。	公園利用者	謝罪をし、後日該当する利用団体の代表者に駐車場利用のお願いをした。
5	R3.8.19	多目的運動広場周辺に公園利用者が路上駐車していることがあるので、指導を強化すべきと苦情。	近隣住民	警察などに相談し、掲示物などによる注意喚起を強化していく予定と回答。
6	R3.9.6	公園利用者が近隣店舗の駐車場に無断駐車をしていたので対応してほしい。	近隣店舗店員	状況について聞き取りを行い、謝罪した。掲示物に注意の文言を追記。
7	R3.9.25	多目的運動広場を半分くらい占有している団体がいて使いにくい。	公園利用者	現場に行き、注意を行った。
8	R3.10.14	大学の授業の一環で、施設の業務体験を1週間程度受け入れられないかと要望。	近隣大学	詳細を確認し、受け入れ可能の旨を伝え、後日6日間活動を受け入れた。
9	R3.11.9	多目的トイレの車いす用レバーが無くなっているので修理してほしいと要望。	公園利用者	現場を確認し、早期修繕に向けて対応する旨を回答。後日部品を取り付けた。
10	R3.11.14	減免出庫の際、駐車場のインターフォンが通じにくい。他の方法で減免はできないか。	公園利用者	基本はインターフォンだが、通じにくい際には事務所に電話いただければ対応する旨を伝えた。
11	R4.2.3	3on3コートの予約方法について、連続利用ができないようなルールにするべきと苦情。	3on3コート利用者	当面の間、職員の巡回継続と掲示物の強化をする予定であることを伝えた。
12	R4.2.23	予約システムセンター宛てに公園駐車場の料金が高いと陳情	公園利用者	システムから担当者に伝える旨を返答。現状料金変更の予定はなし。

事故対応

施設:谷本公園

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	R3.6.11	夜間スケートボードコートに侵入している人がいた。	巡視中の警官が声をかけ、警察で軽犯罪として処理。
2	R3.6.15	夜間スケートボードコートに侵入している人がいた。	巡視中の警官が声をかけ、警察で軽犯罪として処理。

市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

施設: 谷本公園

① 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

事業の提案、実施に際しては、

■ 公平・公正に利用者の声を把握して管理運営に反映すること。

■ 誰もが安心して安全、快適に利用できる環境とプログラムを提供すること。

以上の2点を軸にしながら、利用者サービスの向上と利用促進についての事業を検討しました。

② 市民サービス向上の取組の考え方

これまでに培った経験から、公園の実際の特性やニーズを分析し、もともと公園が持っている「個性(魅力)」をさらに引き出す為に、当団体が公園管理運営をしていく上での指針として、テーマを設定しました。「個性」を伸ばすことで、より利用者の皆様のニーズに応えるとともに、さらに親近感や興味を持っていただくことができると考えました。

谷本公園には、太陽光パネルや屋上緑化などエコな取り組みがあります。また、スポーツ施設がメインの為、利用マナーなどで問題が発生することがありました。そこで、元々の取り組みであるエコに関して強調し伸ばすとともに、マナー向上に関して更なる取り組みをする為に、「+eco +eco(プラスエコ プラスいい子)」というテーマにしました。

③ 利用促進の取り組み、利用者支援等の取り組みについて

■ 利用促進の取り組みについて

球技場はナイター設備のある人工芝の施設として利用の需要が多いため、昨年度に引き続き12月～3月までの本来ナイター利用枠がない期間に、ナイター利用ができるよう利用枠の開放を行いました。また、人工芝は天然芝と比較して整備が短期間で済むことから、今年度は3月の冬期整備期間についても期間を短縮し利用枠を拡大することで、利用促進と利用者満足度の向上に取り組みました。

その他には、遊具や遊び場を増やしてほしい等の声を受け、遊び場にしやすいように竹ぼうくりやぶんぶんゴマの貸し出しを行い、夕方や休日になると多くの子供たちが使って遊ぶ様子が見られるようになりました。また、公園に愛着をもってもらい、足を運んでもらうために鯉のぼりの寄付を募って飾りつけを行ったり、新たに球技場の利用種目となった少年ラグビーの教室を開催するなどの利用促進にも取り組みました。

■ 利用者支援等の取り組みについて

利用者支援としては、支援の妥当性を考慮した上で、地域団体からの公園内での行事開催協力依頼に対し、会場提供や備品の貸出などの対応を行いました。また、新たに花壇ボランティアを募集し、園芸作業が好きな人や、園芸を通じて人と交流したいという方などに花壇やプランターの手入れをってもらうことで、利用者間の交流の場として活用できるように取り組みました。その他にも随時発行しているピオトープ通信やブログでの自然・イベント情報の発信、パンフレットの整備など、公園機能の充実や魅力発信にも努め、使い易く、情報を知しやすい公園になるように努めました。

④ 指定管理者が課題に感じている公園運営改善策

谷本公園での管理を通じて、課題に感じたことには以下のことが挙げられます。次年度はそれぞれの事柄を解決するための取組を行っていきます。

■ 路上駐車関係

今までも注意喚起などの取組を行ってきましたが、令和4年度からの公園の拡張で利用者数が増加し、それに伴い自家用車での来園も増えることが予想されます。令和3年度中にも新しい大型の掲示物の設置やウェブ上での告知等を通じて路上駐車台数の抑制に努め、一定の効果はあったため、次年度も継続して取組を行っていきます。

■ 3on3コート関係

本来自由利用を前提とした施設であるものの、利用者間での利用調整が難しいため、予約表での管理として運用していますが、名前を変えての複数利用などが苦情につながる場合があります。大きな運用ルールの変更は難しいですが、予約時の職員立ち合いや、随時巡回を行って声掛けをすることで注意喚起を行っており、取組を継続して苦情や職員への報告が少なくなるよう努めます。

■ 施設の経年劣化

レストハウスや屋外施設について、経年劣化に起因すると思われる発錆やクラックなどが確認されているため、横浜市に報告しながら指定管理者で対応できる範囲で、優先順位の高そうなものから順に修繕や応急処置を行っています。次年度も横浜市と相談しながら、順次対応を進めていきます。

収支決算書(指定管理料のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	18,410,481	1,148,400	19,558,881	19,558,881	0	備品購入費として
利用料金収入	14,000,000	0	14,000,000	16,093,900	-2,093,900	
自主事業収入	3,200,000	0	3,200,000	7,672,050	-4,472,050	
横浜市による運営支援(休館期間等)	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	113,982	-113,982	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計	35,610,481	1,148,400	36,758,881	43,438,813	-6,679,932	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	23,870,000	0	23,870,000	23,735,107	134,893	
給与・賃金	23,100,000	0	23,100,000	23,166,542	-66,542	
社会保険料	0	0	0	0	0	
通勤手当	770,000	0	770,000	567,850	202,150	
健康診断費	0	0	0	715	-715	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	1,612,000	1,148,400	2,760,400	2,385,194	375,206	
旅費	10,000	0	10,000	23,287	-13,287	
消耗品費	500,000	0	500,000	502,046	-2,046	
会議賄い費	0	0	0	8,742	-8,742	
印刷製本費	55,000	0	55,000	56,384	-1,384	
使用料及び賃借料	228,000	0	228,000	192,140	35,860	
(横浜市への支払い分)	142,000	0	142,000	113,160	28,840	
(その他)	86,000	0	86,000	78,980	7,020	
備品購入費	250,000	1,148,400	1,398,400	1,350,226	48,174	
図書購入費	0	0	0	1,731	-1,731	
施設責任賠償保険	90,000	0	90,000	72,673	17,327	
職員等研修費	0	0	0	10,505	-10,505	
振込手数料	5,000	0	5,000	4,050	950	
リース料	474,000	0	474,000	160,000	314,000	AED設置委託74,580
手数料	0	0	0	3,410	-3,410	
地域協力費	0	0	0	0	0	
自主事業費	700,000	0	700,000	542,408	157,592	
管理費総合計	26,182,000	1,148,400	27,330,400	26,662,709	667,691	
光熱水費合計	4,062,000	0	4,062,000	4,321,892	-259,892	
光熱水費(電気)	3,200,000	0	3,200,000	3,496,873	-296,873	
光熱水費(ガス)	22,000	0	22,000	2,419	19,581	
光熱水費(水道)	450,000	0	450,000	451,739	-1,739	
光熱水費(下水道)	390,000	0	390,000	370,861	19,139	
清掃費	529,000	0	529,000	599,274	-70,274	
修繕費	1,050,000	0	1,050,000	770,142	279,858	
機械警備費	151,000	0	151,000	154,187	-3,187	機械警備費154,187
施設保全費	920,000	0	920,000	861,122	58,878	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	50,000	0	50,000	63,800	-13,800	
電気設備保守	270,000	0	270,000	250,800	19,200	保安委託250,800
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
その他保全費・園地管理費	600,000	0	600,000	546,522	53,478	夜間巡視・放送設備69,300
共益費(合築等の場合)	0	0	0	0	0	
公租公課	12,000	0	12,000	2,548	9,452	
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課(消費税)	0	0	0	0	0	
公租公課(印紙税)	10,000	0	10,000	25	9,975	
その他公租公課	2,000	0	2,000	2,523	-523	
事務経費	500,000	0	500,000	6,020,413	-5,520,413	
事務経費(本部分)	50,000	0	50,000	5,617,082	-5,567,082	
事務経費(当該施設分)	450,000	0	450,000	403,331	46,669	
その他経費(当該公園分)	2,000,000	0	2,000,000	759,000	1,241,000	
支出合計	35,406,000	1,148,400	36,554,400	40,151,287	-3,596,887	
差引	204,481	0	204,481	3,287,526	-3,083,045	
設置管理許可収入合計	10,000,000	0	10,000,000	13,652,577	-3,652,577	駐車場収入、自動販売機収入
設置管理許可可支出合計	8,500,000	0	8,500,000	12,713,496	-4,213,496	駐車場支出、自動販売機支出
差引	1,500,000	0	1,500,000	939,081	560,919	

運営目標・実績報告

施設:谷本公園

目標設定の視点	管理目標	目指す管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
業務運営1 (達成目標、運営業務の実施方針)	・公園の利害関係者に対してバランスを取りながら、公園が持っている「個性(魅力)」を引き出し、より親しみやすく、興味を引くような公園にする。	・年間を通じて、それぞれの利害関係者に応じた取組を2つ以上行う。 ・もともと公園が持っている「個性(魅力)」をさらに引き出す為に、公園管理運営をしていく上での指針として、公園のテーマを設定して運営を行う。	・利害関係者への取組を2つ以上行い、その内部評価として行っている「Y Park Star」では7の評価を受けた。 ・テーマ関係の取組として、家庭にある鯉のぼりのリースや竹の間伐材を使った遊び道具の貸出、路上駐車対策の掲示物設置等を行った。	・各利害関係者に対する複数の取組とテーマ関係の取組を行い、目標を概ね達成した。	・今年度は路上駐車対応に力を入れて取り組んだが、次年度には施設の拡張に伴い利用者の増加が予想されるため、車での来園状況を見ながら対応を継続していきたい。
業務運営2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上)	・利用者から寄せられる苦情や要望、相談などについて、他公園の事例を踏まえながら、対応内容の検討・均一化を図るとともに、利用者のニーズを管理運営に反映させる。	・公園に寄せられた苦情や要望、相談を随時公園管理本部に報告し、月に1回本部職員を招集して行う会議にて、他公園での事例の収集や、対応方法の検討・共有を行う。 ・アンケートや要望を反映した取組を1つ以上行い、利用者満足度の向上を行う。	・月に1度の会議にて、各公園の事例などを共有した。 ・要望を反映し、昔遊びの道具貸出(遊び場作り)等を行った。 ・ご意見が多い路上駐車について、出入口に掲示物等の設置等の対策を行った。	・月に1度他公園の情報共有の会議を行ったほか、アンケートをイベントや運営に反映させることで目標を達成した。	・緊急事態宣言時などは利用者との接触を減らすためにアンケートができず、回答時期に少し偏りが出てしまったため、次年度は満遍なく取れるようにしたい。
業務運営3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	・公園管理事務所と公園管理本部で役割を分担し、円滑な管理運営を行う。 ・地震等の災害時に速やかに対応ができる体制を構築する。	・公園管理事務所と本部でそれぞれ月に1回行う会議で情報共有や事例紹介を行い、当グループ担当公園で均一な対応を行う。 ・災害時に迅速な対応ができるように、対応方法についてまとめた研修と、対応訓練を年1回行う。	・月に1度、管理事務所・管理本部双方で会議を実施し、情報共有を行った。 ・災害時の初期対応や避難誘導の研修と、非常食や災害用資材の保存場所、活用方法の確認を実施。	・会議の実施による情報共有や昨年度作成した防災資料を元に研修を行い、概ね目標を達成した。	・次年度から施設の拡張があるため、拡張部の危険箇所の洗い出しや周知、対応方法の検討を行っていきたい。
人材育成・研修実施効果等	・定期的な研修などを通じて職員のレベルアップ(マルチスタッフ化)を図る。 ・他団体による公園管理運営の事例についての視察や研修を行い、より良い管理運営を目指す。	・新規雇用時に行う新規職員研修の他、月に1回行う定例会時に接遇や施設点検等の研修を行い、年間で計12回以上研修を行う。 ・横浜市などが行う研修会や講習会に公園管理本部の職員が参加し、他団体の取り組みや事例について情報収集を行う。	・新規雇用者向けの研修及び月1回の定例会時に研修を行い、年間で計13回の研修を行った。 ・本部職員が公園管理運営士の資格取得に取り組む、講習や試験を経て資格を取得。	・公園管理事務所現場職員に研修を行い、本部職員も他公園の事例の収集や資格取得に取り組んで目標を達成した。	・月1回の研修を継続しながら、内容に応じて最新の情報に研修内容の更新を行う。

目標設定の視点	管理目標	目指す管理指数・数値	実績	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
維持管理1 (施設の保守管理、補修計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の施設の異常を日常的な点検を通じて早期に発見し、安全性を確保する。 ・発見した異常に関しては、軽微な段階での補修を行い、修繕費用の削減と施設の長寿命化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の異常や劣化をいち早く見つけたため、公園職員に「横浜市公園施設点検マニュアル」を元にした研修を年1回行う。 ・不具合の早期発見・小規模修繕をすることで、横浜市に修繕をしてもらうような大規模な案件を少なくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当する研修を職員に行ったほか、3on3コート舗装で劣化が激しい箇所の部分張替えや、3on3ゴールの錆の再塗装など、大きな不具合や利用の支障になりうるものを随時修繕した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経年的な劣化の為、大規模修繕は依然として必要なものの、小規模修繕を行うことで利用に支障がない段階を維持することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合が発見されたり、応急処置を行った施設については経過観察を行うとともに、随時横浜市に報告をしながら対応をしていきたい。
維持管理2 (清掃、園地維持管理、災害対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープエリアの生物多様性に配慮した植栽管理を行う。 ・公園内の植栽、施設の維持管理作業において、事故防止策を講じ、利用者及び作業者の安全を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの管理計画に沿った管理をいつつ、随時改良案を施工し多様な動植物の生息場所を創出する。 ・年1回本部職員による実施状況の確認を行い、必要に応じて対応の改善を図る。 ・台風被害による倒木、枝折れを防ぐために、8m程度の高木10本程度の剪定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープで繁茂しているヨシ類の選択除草や、雨水が中央部に集まりやすいように仮整備した水路を本整備し、環境整備に取り組んだ。 ・12月に確認を行い、指摘事項について改善した。 ・ケヤキやシラカシ、桜などの高木を計51本剪定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの環境整備や安全対策の確認・改善、高木の剪定など、目標を概ね達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の高木剪定を順次進めているため、次年度にはまだ剪定していない樹木の剪定を行う。
収支 (修繕等、収入、支出)	<ul style="list-style-type: none"> ・収入の一部を利用者還元ができるように、収入を増やすとともに、支出の削減に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品の中で購入時期が古く、修繕回数や費用が多いものは、破棄や新品との入替を提案、実施する。 ・花苗販売や冬季早期解放など、収入増加につながる自主事業の周知活動などに力を入れ、収入予定額の8割以上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕費用が新規購入費用を上回るようなものについては入替、他備品で代用できるものは破棄を行った。 ・球技場の利用枠拡張の他、公園で育てた花苗の販売などを行い、自主事業収入の予定額を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の目標を概ね達成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の想定よりも球技場の利用枠拡張による収入があったため、次年度は今年度の収支状況を踏まえて利用者還元等を行っていきたい。
経費削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・電気等のエネルギー消費量やゴミの廃棄量を削減する取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー目的の自主事業を行う。 ・月に1度空調機の温度設定の確認・見直しを行う。 ・植物性の廃棄物に関して、園内でのリサイクル活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンなどによる省エネルギー関係の取組を行った。 ・落葉の堆肥化や剪定枝の粗朶垣利用を行った。 ・飾り用の鯉のぼりを購入ではなく、地域の方から寄付していただくことでユースにも取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内だけでなく、地域も絡めて廃棄物などの削減や資源の再利用を行い、目標を達成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥化や剪定枝の粗朶垣利用などを継続して処分費を中心に経費の削減に取り組む。

自主事業実施報告

施設:谷本公園

	事業名	目的・内容	実施時期	回数	収支状況	実施結果考察
1	ヨガ教室	大人の健康促進の取り組みとして、会議室を利用したヨガ教室を実施。	通年	48	39,900	稼働率の安定化と大人の健康振興に貢献した。
2	サッカー教室	スポーツ振興を目的として、児童向けのサッカー教室を行う。	通年	42	1,284,450	稼働率の安定化と児童へのスポーツ振興に貢献した。
3	鯉のぼり飾り付け	地域で使われていない鯉のぼりを寄付してもらい、公園に飾り付けを行った。	4月～ 5月	1	0	家庭に眠っている資源のリユースと景観性の向上に貢献。
4	七夕飾り付け	公園利用者に短冊を書いてもらい、七夕飾りと一緒に飾りを行った。	7月	1	-5,268	児童が来園する機会となり、利用者層の増加に貢献した。
5	子供体操教室	夏休みを利用し、体感トレーニングや走るコツについての体操教室を4回に分けて開催。	7月～ 8月	4	-3,500	児童に運動する機会を提供し、満足度向上に貢献した。
6	横浜キヤノンイーグルスラグビースクール	新たに利用種目となる少年ラグビー推進のため、コーチを招き教室を開催。	10月	1	44,400	児童にプロのラグビーチームと接する機会を提供した。
7	横浜FCカップ	地域の少年サッカーチームの交流を目的に、地域団体を招いた交流大会を開催。	11月	1	23,200	地域交流の場として公園が活用され、地域の活性化に貢献。
8	花壇ボランティア活動	利用者間での交流を目的に、花壇の植え付けや花柄摘みをボランティアの方と行った。	11月～	—	0	参加者が複数いらっしゃる、利用者同士の交流の場を提供。
9	冬季ナイター利用枠開放	施設利用者のニーズを反映し、球技場の冬季のナイター利用枠を拡張した。	12月～ 3月	—	4,790,200	冬季にも使える施設として、利便性の向上に貢献した。
10	しめ縄リース教室	チガヤを使ったしめ縄を作り、リース状の正月飾りを作成する教室を開催。	12月	1	-399	園芸に関するニーズを反映し、満足度向上に貢献した。
11	昔遊び道具貸出	子供の遊び道具として竹ぼっくりやぶんぶんゴマを作り、貸し出した。	12月～	—	-2,000	遊び場が欲しいというニーズに応え、満足度向上に貢献した。
12	寄せ植えリース教室	公園で材料を手配し、身近な道具で作れるリース状の寄せ植えを作る教室を開催。	2月	1	-1,834	園芸に関するニーズを反映し、満足度向上に貢献した。
13	野鳥観察会	園内と鶴見川に生息する野鳥を紹介しながら観察した。	2月	1	0	自然へ興味を持つきっかけ作りを提供。
14	青葉区の少年少女サッカー卒業大会開催協力	卒業前の思い出作りの一環として、区内児童が参加する大会へ会場提供の協力を行った。	3月	1	34,800	地域団体の行事に協力し、利用者満足度の向上に貢献した。
15	冬期早期解放	球技場の冬期整備期間を短縮し、施設利用を可能とした。	3月	14	1,178,600	冬季にも使える施設として、利便性の向上に貢献した。
16	はまっ子ユーキの販売	公園窓口ではまっ子ユーキの販売を実施。	通年	—	0	園芸ニーズを反映し、満足度を向上。
17	養蜂活動	環境教育の資源と、生物の生息環境提供のため、ニホンミツバチをバックヤードで飼育。	通年	—	0	周辺植物の受粉やブログの内容充実にご貢献した。
18	落書きボードの設置	自由にお絵描きできる場所として設置したボードを、使い易いように新しいものに更新した。	通年	—	-12,878	遊び場が欲しいというニーズに応え、満足度向上に貢献した。
19	ビオトープ管理	生息する生物に配慮して、草刈時に隠れ場所作りやブログなどでの情報発信を行った。	通年	—	0	生息しやすい環境や、興味を持つきっかけ作りにご貢献した。
20	路上駐車対策	周辺への路上駐車を減らすため、ウェブおよび公園出入口へ注意喚起掲示などを実施。	通年	—	-33,251	次年度に備え取組を行い、台数減少の効果が見られた。

※ 収支状況は開催(実施)の実費収支のみで、準備や打ち合わせ時の準備費及び労務費は含まれていません。 他30件

利用者アンケート実績

施設: 谷本公園

回答方法	回答数	備考
イベント	71	—
イベント以外(聞き取りなど)	53	—

年齢層

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
35	6	21	20	20	10	9	3

住所

市内	市外	市外の例
115	9	町田市

公園やイベントを知った方法

公園ポスター	ホームページ	区の広報	知人から	その他
28	19	3	46	27

公園の利用頻度

毎日	週1~2回	月1~2回	年1~2回	数年に1回	初めて
5	31	33	24	14	17

来園手段

徒歩	自転車	バイク	自家用車	バス	電車	その他
34	30	4	48	1	18	2

来園目的

散歩	休息	自然観察	子供と遊ぶ	イベント	犬の散歩	運動・スポーツ	その他
15	6	6	10	27	2	85	7

使用した場所

球技場	3on3	スケートボード	ピオトープ	多目的	遊具	レストハウス	会議室	その他
42	21	10	11	40	30	44	25	20

満足度について

施設の清潔さについて

満足	普通	不満	わからない
80	24	1	19

施設の利便性について

満足	普通	不満	わからない
85	26	1	12

安全性について

満足	普通	不満	わからない
95	21	2	6

公園内外の案内について

満足	普通	不満	わからない
80	36	0	8

植栽の管理状態について

満足	普通	不満	わからない
99	19	0	6

イベント、催しについて

満足	普通	不満	わからない
67	29	0	23

売店、飲食サービスについて

満足	普通	不満	わからない
58	45	2	19

職員の対応について

満足	普通	不満	わからない
106	11	1	6

総合満足度について

満足	普通	不満	わからない
102	20	0	2

再来園の希望

また来たい	もう来ない	わからない
118	0	6

※ 一部項目で複数回答などがあったため、合計値が回答数と一致しない場合があります。

研修実施報告

施設:谷本公園

	実施日	研修名	内容及び効果
1	R3.4.22	個人情報の取り扱いに関する研修	個人情報に対する取り扱い上の注意点や、禁止事項などの研修。
2	R3.5.27	刈払機の取り扱い 病害虫、巣立ち雛への対応について	刈払機などの機械の取り扱い方法や注意事項、6月から多くなる巣立ち雛や病害虫に対するの対応方法についての研修。
3	R3.6.24	熱中症について	夏の作業時における体調管理の方法、熱中症になった時の対応方法の研修。
4	R3.7.29	人権啓発研修	公園で起こりうる人権侵害の事例や要望などがあつた際の合理的配慮などの対応について、共有と意見交換を実施。
5	R3.8.26	緊急時の対応について(事故・気象災害)	事故や台風などの気象災害時の緊急対応の仕方についての研修。
6	R3.9.29	施設点検、遊具点検について	施設や遊具に関して、日常的に行う目視などによる点検項目についての研修。
7	R3.10.28	巡視ルートとハザードマップ	巡視時の注意点やハザードマップについての研修と危険個所の意見交換を実施。
8	R3.11.25	樹木管理について	樹木の剪定・刈込などの管理の際の注意事項などを共有し、日ごろの管理に役立てた。
9	R3.12.23	テニスコートの種類・特徴について	新たに整備されるテニスコートについて、人工芝やハードコートなどの種類とそれぞれの特徴について研修を行い、利用者からの問い合わせなどにスムーズに答えられるようにした。
10	R4.1.27	拡張部の運用について	拡張部の調整池機能や灌水時の対応方法などについて研修を行った。
11	R4.2.24	AED研修	AEDの使い方についての動画を見るときに、本体及び付属品の確認をすることで緊急時に焦らず対応できるように研修を行った。
12	R4.3.31	災害時の対応について (災害ベンダー機、備蓄などについて)	災害時に使用する災害ベンダー機や備蓄している非常食、資材の確認と使い方の研修。避難者を地域防災拠点へと誘導する方法などを周知。
13	R3.6月,7月 R4.2月	新規職員研修	新規雇用職員に対する通常業務やトラブル対応など、業務全般の研修。新規入職者に随時実施。